

令和4年1月18日

課外活動団体 各位

学生支援担当副総長
佐久間 淳一

学内におけるオミクロン株の感染急拡大にともなう注意喚起について

先週も注意喚起を行ったところですが、学内でも日々感染者及び濃厚接触者が急増し、自宅待機になる学生も多数に上っています。この状況を受け、1月19日付けで名古屋大学の警戒カテゴリーがA（要注意）からB（高度警戒）に格上げされることになりました。併せて、課外活動に関する活動指針もレベル1からレベル2へ変更になります。指針のレベルの引き上げは、皆さんにとっては不本意かもしれませんが、今回の措置は、課外活動を全面停止にはしない、それを食い止めるために今必要な対応を取ることに主眼があります。

オミクロン株の感染力が非常に強いことから、クラブ・サークル内で感染者が出た場合、当該クラブ・サークルについては即、活動停止、かつ関係者の自宅待機をお願いしなければならない状況に既になっています。このような状況で、課外活動全体の活動停止を回避するには、大会、公式戦、公演、イベント等の学内外での開催や参加など、事前申請が必要な活動について、ある程度制限を設けざるを得ません。今後、まん延防止等重点措置の対象地域が増えることが見込まれていますが、当該地域を開催地として行われる大会、公式戦、公演、イベント等への参加は原則禁止です。また、宿泊を伴う活動（合宿を含む）については自粛してください。普段の活動についても、状況がさらに悪くなれば、大学から指示する場合がありますが、クラブ・サークルの方でも、大学から指示があるまでは通常通り活動を続けるということではなく、感染者が出ることをいかに防ぎ、オミクロン株の急拡大がピークアウトするまでの期間をいかに凌ぐか、という観点から、それぞれの活動形態に応じて、極力活動の範囲を絞る等の対応を自主的に検討するようお願いいたします。

活動中だけでなく、日常生活においても感染防止対策を徹底することは言うまでもありませんが、課外活動に伴う会食も、このような状況では、人数に関わらず基本的に回避するようにしてください。

《問合せ先及び書類提出先》
学生支援課課外活動係
gakumu-kagai@adm.nagoya-u.ac.jp